

## 遠くて近い中南米諸国

日本から多くの移住者が中南米に移住した結果、日本の血が入った多くの日系人が中南米で生活し、活躍しています。ブラジルには150万人以上の日系人が住み、日系移住者の移住地が大きな町に発展しています。また、ボリビアにはサンファンやオキナフという地名で海外移住者の町があり、パラグアイにはイグアスほかいくつもの大きな日本人移地があります。ペルーではフジモリ大統領が誕生し、中南米諸国の多くの都市で日系人が要職に付き活躍しています。現地では、多くの日本語が通用している日系人社会やコミュニティがあります。中南米諸国の多くの都市で県人会や日本の郷土の伝統文化・伝統芸能の会が存在し、コミュニティ活動が盛んに行われていて、日本の社会とあまり変わりのない社会が存在しているといえます。

一方、日本の国際社会の取り組みは、欧米先進国、アジア諸国との関係づくりが進み、次は、中南米との関係強化が言われています。アジアが中心となっているAPECにチリやメキシコなどが加盟するなどの動きが出ていて、中南米とアジアや日本との関係が、これから密になって行くといえます。

このように、日本人の血の入った多くの日系人の存在、国家間では日本との関係強化が進む動きを見ると、地理的には遠い中南米諸国ではありますが、日本には極めて近い国といえ、また、今後は注視すべき諸国といえます。

このような背景と中南米諸国との因縁および世界で一番多く使われているスペイン語の背景を考えると「スペイン語」は、日本人にとって学ぶべき語学の一つといえるでしょう。

スペイン語を学び、日本人との関係が深い中南米との交流を広げましょう！



## 「スペイン語は第2の世界語！多くの人と交流の機会が持てる」

スペイン語は、スペイン本国はもちろん、ブラジルを除くメキシコからチリにいたる中南米とカリブ海諸国20数カ国の国語で、世界で一番多くの国で国語として使われています。世界のスペイン語人口は3億8,000万人に達し世界語とも言われています。第1の世界語を英語とすれば第2の世界語といっても過言ではありません。

スペイン語を知ること、スペインを始め中南米・カリブ海の多くの国々の人々と交流を深めることができます。また、日本から海外に移住した移民の子孫で、多くの日系人を輩出しているのが中南米といえます。ペルーやボリビアなどから日系人が多く来日し、日本の地方都市で日系人コミュニティが形成されています。この影響を受け日本の地方都市ではスペイン語系の国際社会が拡大しつつあり、スペイン語を読み書き、会話が出来る人が必要とされるようになりました。

# SPANISH



スペイン語で  
世界にチャレンジ  
福井千鶴  
ファン・カルロス安達

## ニューヨークでもスペイン語で買い物

アメリカには、隣接するメキシコやプエルトリコをはじめ中南米諸国から多くの移民が移住し、スペイン語を話す人が沢山働いています。スペイン語圏からの移住者をヒスパニックと呼び、彼らの社会ではアメリカでもスペイン語が日常的に使用されていて、サンディエゴやロスアンジェルスなどのダウンタウンではスペイン語が通常語のようになっています。買い物をスペイン語ですると英語で交渉するよりも安くなり得る場合があります。ニューヨークなどの北の地域でも、スーパーマーケットやマクドナルドなどのファーストフード店のキャッシャーや売り子にはスペイン語圏の出身者が多く、買い物もスペイン語で通用するところが多くあります。このようにアメリカでもスペイン語が話せると便利な地域が沢山あります。また、ロスアンジェルス、コスタメサ、リオグランデなどスペイン語に由来する地名も多くあり、スペイン語を知っているとアメリカでも生活や旅行に便利といえます。



### CHIZU FUKUI

経済学部非常勤講師  
1981年から経済学部スペイン語講師。  
2002年4月より日本大学国際関係学部  
准教授。本校では1981年以来スペイン  
語を専門に教えています。日本大学では  
ラテンアメリカ概説、ラテンアメリカ社会、  
ラテンアメリカ論が専門です。主な研究  
分野は、ラテンアメリカ社会を中心に、  
貧困問題、ジェンダーと格差、日系移民  
社会とコミュニティです。

### JUAN CARLOS ADACHI

経済学部非常勤講師  
2004年から経済学部スペイン語講師。  
1999年4月より聖徳大学非常勤講師（ス  
페인語）。本校では2004年以来ス  
페인語を専門に教えています。出身国及  
び学んだ大学は南米のコロンビアです。  
日本人の血が入っております

